

## 留学体験

情報文化学科 2年 柄澤亜美

私は2014年8月20日～12月13日の約4か月間の間アメリカのミズーリ州に設立されている Northwest Missouri State University へ留学した。私が留学を志望した理由は、アメリカ英語の向上とアメリカ文化を体感することが目的であったためだ。アメリカ到着後の数週間は英語がうまく聞き取れず、自分の英語能力の低さに焦りや不安を感じた。授業はAクラス、Bクラスに分けられ、私は基本的な英語を学ぶBクラスに割り当てられた。授業では積極性が求められるため、分からないところなど積極的に質問をしたり発言することを心掛け実践した。授業では様々なことをしたが、中でも私は週に一度、人前でスピーチをする Speaking テストが苦手であった。しかし、何度か発表を重ねていくうちに緊張することも減り、楽しめるようになった。授業以外にも週に二回一時間 Conversation partner というネイティブの先生と話す機会もあった。私のパートナーは Melanie という年上の女性でした。彼女との Conversation により私の英語の能力は最初に比べて少しでも伸びたに違いない。寮での生活は同じ大学の子と約一ヶ月間同室で、約三か月間は Julie というアメリカ人の子と同室だった。Julie は私より一つ年下で笑顔が素敵な女性だった。彼女はとてもフレンドリーで度々私を食事やドライブに誘ってくれた。そのため私の寮での生活を充実したものであった。大学のイベントは盛んであった。特にフットボールゲームの観賞は楽しめる要素が多く、フットボールゲームを初めて観賞した私に興奮を与えた。また、Thanks giving day というイベントも私にとって印象的だったイベントの一つだ。Thanks giving day ではルームメイトの Julie の家に約五日間滞在した。その間、彼らは Thanks giving day の定番料理である七面鳥やパンプキンパイなどの特別な料理を私に振る舞ってくれたり、カンザスシティへ連れて行ってくれたりと、様々な形で私をもてなした。その他にも彼らと文化の違いや家族についての話もした。それらすべてのことが私にとって貴重な経験であり、彼らは私に多くのことを気づかせてくれた。日本へ帰国した日は、アメリカへ到着した時のように日本でのすべてのことが新鮮だった。留学ではこのような貴重な経験をすることができたが、いくつかやり残したことがあるので、いつかまたアメリカのミズーリに行くことを考えている。